授業づくり研修講座　実践レポート

　　座間市立入谷学校　　　氏名　　髙橋　紗也果

単元名　　第　１学年　　「　わたしがしょうらいなりたいもの　」

実践のポイント（工夫）

・文章を書くときに、いつ・どこで・誰と・何をした・自分の思いなど詳しく書くことを意識させている。理由や将来のことを詳しく書けるよう、メモを書きながら考えさせ、書かせていく。

実践内容

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 　〈２学期から取り組ませていること〉毎日、朝の会の中で日直に「１分間スピーチ」を行わせている。家族で出かけたこと、友達と休み時間遊んだことなど様々なことである。また、時折金曜日には「ひみつのあのね」という題材で学活の時間や家庭学習として担任に伝えたいことを書いてくる活動を取り組ませている。単元名　『　わたしがしょうらいなりたいもの　』目標　自分が将来なりたいものを考えさせ、何故なりたいのかを相手にわかりやすく文章で伝えることができる。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 学習活動 | 指導上の留意点 | 評価 |
| はじめなか　おわり | 将来なりたいものを再確認する。文章の書き方を確認する。作文プリントに書いていく。書いた内容をペアで発表し合う。 | 前回書いたプリントを用いて、将来の夢について思い出させる。句読点や段落を意識して書くことを確認させる。事前に書いたプリントを基に作文プリントに、書かせていく。発表する姿勢や聞く姿勢に注意させる。 | 相手にわかりやすく文章を書いている。 |

 |

振り返り（成果や課題）

　日ごろから、文章を書く指導を行っているため、自分の思いを表現することが得意な児童が増えた。また、句読点や理由を書くことに慣れ、わかりやすい表現ができるようになった。

しかし、将来なりたいものが見つからない児童がいたため、教師が提示して考えさせたが、意欲が高まらない様子も見られた。また、文章を繰り返し書いてしまう児童が多いため、見直しをする意識をつけさせていきたい。